

平成 2 5 年度
教育委員会予算要求方針

【目次】

1	平成 2 5 年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針・・・	1
2	重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3	事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・・・・・	13

1 平成25年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成25年度教育委員会予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 22,606,396千円
 (平成24年度予算額 23,316,520千円)
 前年度比 3.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 A	平成24年度 予算額 B	増 減 A - B
市制50周年事業	27,771	0	27,771
学校の読書活動推進事業	103,534	51,500	52,034
東部地域における特別支援 学校の整備	262,454	45,200	217,254
いじめ対策の充実	440,247	170,817	269,430
小中一貫・連携教育推進事業 【一部再掲】	207,822	7,320	200,502
耐震補強事業	2,629,332	1,594,000	1,035,332
普通教室等扇風機設置事業	306,784	0	306,784
家庭学習パワーアップ事業	14,595	0	14,595
経済界との連携による学校 支援モデル事業	8,991	2,260	6,731
(仮称)市民みらい創造プラザ事業	12,191	0	12,191
八幡西生涯学習総合センタ ー事業	3,944	0	3,944
旧戸畑区役所庁舎図書館活 用事業	907,628	65,900	841,728

(2) 平成25年度教育委員会経営方針

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランに掲げる"人づくり"を具体化するための部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」及び「北九州市生涯学習推進計画」を着実に推進する。子どもの教育の分野では、教育プランに掲げる基本方針「教育日本一を実感できる環境づくり」を目指し、引き続き「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、「子どもの教育」への市民参画を進めていく。

また、生涯学習の分野では、生涯学習推進計画に掲げる「市民が学び、つどい、輝くまち、北九州市をめざして」を目標に、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図る。

さらに、いじめ防止や防災意識の向上に向けた取組みに加え、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げられた小中一貫・連携教育の推進や経済界との連携による学校支援など、子どもたちがいきいきと学習や活動ができるよう必要な取組みを進める。

なお、教育プランの当初5年間の計画が平成25年度に終了することから、平成26年度からの5年間で取り組むべき事業等を追加・拡充した後期事業計画を作成する。

子どもの教育に関する分野

思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

心の育ちの推進

- ・教育活動全体を通じて児童生徒の道徳的実践力や人権感覚をはぐくみ、規範意識の向上といじめ・不登校などの未然防止に取り組むため、道徳教育、体験活動などを充実する。
- ・市制50周年を記念し、いちいがし植樹やふるさと北九州メッセージコンテストを実施するなど、郷土への愛着を深める取組みを行う。

確かな学力の向上

- ・学力アップを促進するための事業など、学習意欲を高める授業づくりを支援し、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに、それらを活用する力を高める。また、家庭と連携・協力して、家庭での学習習慣の定着化を図る。さらに、学校図書館嘱託職員やブックヘルパーの活用による学校図書館の活用や充実を通して、読書習慣の定着を図る。

健やかな体の育成

- ・オリジナルダンス DVD の一層の活用等による授業の工夫改善と、授業以外での学校全体の取組みの充実を図るとともに、家庭との連携・協力により体を動かす機会を増加させ、運動習慣の定着や体力の向上を図る。また、学校給食を生きた教材とし、小・中学校 9 年間を通じて子どもの発達段階に応じた食育指導を引き続き行い、子どもの食に関する知識、食を選択する力、食に関して自立できる力を培う。

子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ・小学校 4 年生全員が学習する環境体験科などの特色ある環境教育に加えて、平成 24 年度から開始した牛乳パックリサイクルモデル事業を拡充するなど、学んだことと実社会とのつながりを感じ取ることができる教育活動を進め、子どもの意欲を高める。
- ・幼児教育の充実を進めるとともに、小学校とのさらなる連携を深め、円滑な接続を図る。

特別支援教育の充実

- ・特別支援教育を推進する体制の充実を図るとともに、教職員の専門性の向上や保護者・市民への理解啓発を行う。
- ・児童生徒の増加に伴う東部地域の特別支援学校の新設や特別支援学級の整備など、特別支援教育の場の整備を進める。

学校・教職員の力を高める

信頼される学校・園経営の推進

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣の充実など、体制の整備を図るとともに、いじめ防止に関する教職員向け指導資料の改訂など、いじめ対策の充実を図る。
- ・これまでのモデル事業の成果と課題の検証を踏まえ、平成 25 年度から市内全ての小中学校で小中一貫・連携教育を実施する。

教育環境の整備

- ・学校施設耐震化の平成 27 年度完了に向けて、さらなる耐震化を図るとともに、学校体育館の防災機能を強化することにより、安全で安心な学校施設を整備する。また、エコスクールモデル事業など環境に配慮した施設整備や、普通教室等への扇風機の設置など、充実した教育活動につながる快適な教育環境の整備を進める。

家庭の教育力を高める

家庭における教育・生活習慣づくりの充実

- ・家庭教育に関する情報提供、啓発活動を通して、保護者の学ぶ機会の充実を図るとともに、家庭と連携・協力して、子どもの基本的な生活習慣や家庭での学習習慣の定着への取組みを実施する。

地域の教育力を高める

地域と連携した学校運営の実現

- ・経済界との連携による学校支援モデル事業を拡充するなど、経済界や大学等が学校を支援する取組みを進める。また、スクールヘルパー事業や学習支援型アフタースクール事業などのさらなる充実を図り、学校教育への地域の参画を促す。

地域における教育活動の充実

- ・地域における教育活動の充実を図るため、子ども家庭局とも連携して活動団体への支援、地域や団体活動に多くの市民が参画できる仕組みづくりを推進する。

生涯学習に関する分野

市民がいきいきと学び合える環境の整備

学習機運の醸成と多様な学習機会の充実

- ・市民の生涯学習意欲を高めるとともに、市民一人ひとりが生きがいと自己実現を実感でき、あわせて住民主体の地域活動を推進するため、生涯学習市民講座など様々な学習機会の提供を充実する。

学習を支える体制づくり

- ・幅広い分野で生涯学習の機会を提供するため、八幡西生涯学習センターの移転及び機能拡充、旧戸畑区役所庁舎の図書館としての再整備など、生涯学習関連施設の整備・充実を図る。また、市内の高等教育機関や NPO などとの連携強化を図り、学習機会の提供や地域活動の活発化を図る。

地域活動をリードする人材の育成

人材の育成・学びの成果と活用

- ・コムシティ内の 8 施設で構成される「人づくり支援機能」の中核である（仮称）市民みらい創造プラザにおいて、（仮称）八幡西生涯学習総合センターが中心となり、新たな人材育成事業を実施する。

- ・地域デビュー支援事業など地域課題解決に向けた講座等を実施し、市民ニーズや社会ニーズを踏まえた地域活動をリードする人材の育成を図る。
- ・ホット学びたい市民講座支援事業など、社会教育関係団体等の市民が企画・提案する学習を支援することにより、自発的な学習を促すとともに、生涯学習活動の成果を活かせる機会を促進する。

学校、家庭、地域との連携強化

学校教育・家庭教育への支援、連携強化

- ・学校支援地域本部事業等の地域による学校の教育活動への支援を通して、学校と地域との連携の促進を図る。
- ・地域・子ども交流事業など、子どもの異学年交流や体験活動など地域における教育活動の充実を行い、家庭・地域の教育力の向上を図る。
- ・すべての教育の出発点である家庭の教育力の向上をめざし、子育てサポーターなどの活動を通じて保護者の不安の軽減を図るとともに、家庭教育に関する保護者への情報提供や啓発活動の充実を図る。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

子どもの教育に関する分野

(1) 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

1
拡 充

・心の教育推進事業の拡充

19,067千円

(うち拡充分 12,294千円)

(事業概要)

いじめや不登校をはじめとした子どもたちの問題行動や、人間関係を築けない児童生徒に対応するため、社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育む道德教育・体験活動の充実を図る。

1 新規	<ul style="list-style-type: none"> ・市制 50 周年記念事業 27,771 千円 <p>(事業概要)</p> <p>市制 50 周年を祝う学校行事として、教育環境の整備や郷土への思いを深めるため、本市のシンボルツリーである「いちいがし」を全ての市立学校に植樹する。また、ふるさと北九州を想い、愛する気持ちを込めたメッセージを広く募集し、優秀作品を表彰する。</p>
1 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな人権教育教材集の作成 <ul style="list-style-type: none"> < 債務負担行為 11,340 千円 > 15,023 千円 (うち拡充分 13,635 千円) <p>(事業概要)</p> <p>社会の急激な変化とともに様々な人権問題が多く発生している中、文部科学省より「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」が示されたことから、その趣旨を踏まえた「新たな人権教育教材集・指導書」を作成する。</p>
1 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・学力アップを促進するための事業 78,083 千円 <p>(事業概要)</p> <p>本市における学校教育の基本方針である「北九州スタンダード」の実現と児童生徒の学力の向上を図るため、必要な市費講師の配置を行うとともに、学習指導の改善に資する資料等を作成する。</p>
1 新規	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習パワーアップ推進事業 【再掲】14,595 千円 <p>(事業概要)</p> <p>家庭での学習習慣の定着化を図り、主体的に学ぶ子どもを育成するため、「(仮称)家庭学習チャレンジハンドブック」を作成する。</p> <p>また、家庭学習を支援するため、各教科の練習問題集や家庭学習 Q&A 等の情報提供を行うサイトを開設する。</p>

1 拡 充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の読書活動推進事業 <p style="text-align: right;">103,534 千円 (うち拡充分 52,034 千円)</p> <p>(事業概要) 中学校区に配置する学校図書館嘱託職員やブックヘルパーの充実を図り、学校における読書活動を推進する。</p>
1 継 続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境教育推進事業 <p style="text-align: right;">21,423 千円</p> <p>(事業概要) 地域の自然環境を守る環境保全の取組みやリサイクル活動など、あらゆる環境活動に主体的に取り組むことができる子どもを育成するため、環境施設や自然を体験的に学ぶ「環境体験科」や「北九州市環境キャラバン」の実施など体験を重視した環境教育を推進する。 また、学校のユネスコスクールへの登録を推進するなど、環境教育の発展を目指す。</p>
1 拡 充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牛乳パックリサイクルによる環境教育モデル事業 <p style="text-align: right;">6,414 千円 (うち拡充分 3,414 千円)</p> <p>(事業概要) 「環境未来都市」としての取組みを推進している本市において、子どもたちが身近に感じ実践できる環境教育の一環として平成24年度から取り組んでいる牛乳パックリサイクルの実施校を3校から15校へ拡大して取り組む。</p>
1 新 規 【チャレ ンジ枠】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立高校部活動振興費 <p style="text-align: right;">47,569 千円</p> <p>(事業概要) 市立高校の部活動振興のため、外部講師や設備、部活動用品等を充実するとともに、遠征などの支援を行うことで、生徒が部活動に打ち込める環境整備の強化を図る。</p>

1
拡 充

・ 東部地域における特別支援学校の整備

262,454 千円

(うち拡充分 217,254 千円)

(事業概要)

市内東部地域(門司区)において、知的障害と病弱(心身症等)を対象とする特別支援学校を新設するため、基本設計・実施設計を行うとともに、既存建物の解体工事等を行う。

1
拡 充

・ 特別支援教育相談支援体制の整備

47,709 千円

(うち拡充分 17,310 千円)

(事業概要)

特別な支援を要する児童生徒に関する様々な相談が急増しているため、障害の特性の把握・分析ができる言語聴覚士及び作業療法士を特別支援教育相談センターに新たに配置するなど、特別支援教育における相談支援体制の充実を図る。

(2) 学校・教職員の力を高める

1
拡 充

・ いじめ対策の充実

【一部再掲】440,247 千円

(うち拡充分 269,430 千円)

(事業概要)

いじめ、不登校など児童生徒の問題行動等への対応を強化するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、市費講師の配置を拡充するとともに、教育委員会の取組みや対応について検証・協議等を行う第三者委員会を設置するなど体制を整備する。

また、いじめ対策にもつながる児童生徒の社会性や規範意識を育むため、道徳教育・体験活動の充実を図る。

1 拡 充	・ 小中一貫・連携教育推進事業 【一部再掲】207,822 千円 (うち拡充分 200,502 千円)
----------	---

(事業概要)

義務教育 9 年間を通じた系統性・連続性のある指導資料を充実し、市費講師の配置を拡充するとともに、リーダースクールの取組み・成果の公開等により普及啓発を図り、平成 25 年度から全市的に小中一貫・連携教育を実施する。

1 拡 充	・ 耐震補強事業 < 債務負担行為 651,557 千円 > 2,629,332 千円 (うち拡充分 1,035,332 千円)
----------	---

(事業概要)

学校施設に必要な耐震性を確保するため、施設の耐震化を図る。耐震診断の結果、耐震補強が必要な校舎等は耐震補強計画及び耐震補強工事を順次実施する。

1 継 続	・ 学校体育館防災機能強化推進事業 132,710 千円
----------	---------------------------------

(事業概要)

学校体育館は、災害時の避難所や地域の行事、スポーツ活動の拠点としての機能を備えていることから、高齢者や障害者に配慮したトイレやスロープの改修などを行い、日常の利便性を向上させるとともに防災機能の強化を図る。

1 拡 充	・ 吊り天井(非構造部材)改修事業 52,559 千円 (うち拡充分 41,059 千円)
----------	---

(事業概要)

児童生徒の安全・安心の確保のため、「吊り天井(非構造部材)」構造になっている学校体育館等について必要に応じ、計画的に改修工事を実施する。

1
新規

・普通教室等扇風機設置事業

306,784 千円

(事業概要)

教室における夏季の暑さ対策の一環として、平成24年度に実施した「普通教室等扇風機設置モデル事業」の効果の検証結果を踏まえて、普通教室等に扇風機を設置する。

(3) 家庭の教育力を高める

1
新規

・家庭学習パワーアップ推進事業

14,595 千円

(事業概要)

家庭での学習習慣の定着化を図り、主体的に学ぶ子どもを育成するため、「(仮称)家庭学習チャレンジハンドブック」を作成する。

また、家庭学習を支援するため、各教科の練習問題集や家庭学習 Q&A 等の情報提供を行うサイトを開設する。

(4) 地域の教育力を高める

1
拡充

・経済界との連携による学校支援モデル事業

【再掲】8,991 千円

(うち拡充分 6,731 千円)

(事業概要)

経済界と連携することで、企業が持つ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などに有効活用する。平成25年度は、モデル校を11校から15校へ拡大して取り組む。

1
拡充

・学校支援地域本部事業

【再掲】27,124 千円

(うち拡充分 17,724 千円)

(事業概要)

教員が子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の向上を図るため、各学校支援地域本部に地域コーディネーターを配置し、地域の協力のもと学校の要望に応じた教育活動を支援する体制づくりを推進する。

1
拡 充

- ・学習支援型アフタースクール事業～学習支援特化型学校支援地域本部事業～

【再掲】8,752千円
(うち拡充分 5,152千円)

(事業概要)

基礎的な学力の向上や学習習慣の定着を図るため、放課後等において、地域、大学生等の協力を得ながら、子どもたち一人ひとりにきめ細かな学習支援を行う。平成25年度は、モデル校を7校から10校に拡大して、成果や課題等について検証を行う。

1
拡 充

- ・学校の読書活動推進事業

【再掲】103,534千円
(うち拡充分 52,034千円)

(事業概要)

中学校区に配置する学校図書館嘱託職員やブックヘルパーの充実を図り、学校における読書活動を推進する。

生涯学習に関する分野

(1) 市民がいきいきと学び合える環境の整備

3
新 規

- ・(仮称)市民みらい創造プラザ事業

【再掲】12,191千円

(事業概要)

人づくり支援を目指して、コムシティ内8施設の協働により、「(仮称)市民みらい創造プロジェクト」を実施する。

3
新 規

- ・(仮称)八幡西生涯学習総合センター事業

3,944千円

(事業概要)

生涯学習社会における市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、幅広い分野における専門的な学習機会を提供するとともに、様々な地域活動を実践できる人材を育成する。また学習成果を発表する機会を提供する。

3 拡 充	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉南区図書館整備推進事業 <p style="text-align: right;">5,000 千円 (うち拡充分 2,000 千円)</p> <p>(事業概要) 小倉南区の地区図書館整備に向けて、整備推進に必要な基本計画を策定する。</p>
----------	--

3 拡 充	<ul style="list-style-type: none"> ・旧戸畑区役所庁舎図書館活用事業 <p style="text-align: right;">< 債務負担 3,436 千円 > 907,628 千円 (うち拡充分 841,728 千円)</p> <p>(事業概要) 平成 25 年度内のオープンに向け、旧戸畑区役所庁舎を戸畑図書館として再整備し、開館準備等を進める。</p>
----------	---

(2) 地域活動をリードする人材の育成

3 新 規	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)市民みらい創造プラザ事業 <p style="text-align: right;">12,191 千円</p> <p>(事業概要) 人づくり支援を目指して、コムシティ内 8 施設の協働により、「(仮称)市民みらい創造プロジェクト」を実施する。</p>
----------	---

3 継 続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決につなぐ生涯学習の充実 ~つなぐプロジェクト~ <p style="text-align: right;">6,134 千円</p> <p>(事業概要) 社会教育関係団体等の市民が、自発的に企画・提案する学習を支援するとともに、地域課題解決に向けた講座やワークショップを通じて、団塊世代などを対象とした人材の育成を図る。</p>
----------	---

(3) 学校、家庭、地域との連携強化

- | | |
|--|--|
| 1
拡 充 | ・ 経済界との連携による学校支援モデル事業
8,991 千円
(うち拡充分 6,731 千円) |
| (事業概要)
経済界と連携することで、企業が持つ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などに有効活用する。平成25年度は、モデル校を11校から15校へ拡大して取り組む。 | |
| 1
拡 充 | ・ 学校支援地域本部事業
27,124 千円
(うち拡充分 17,724 千円) |
| (事業概要)
教員が子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の向上を図るため、各学校支援地域本部に地域コーディネーターを配置し、地域の協力のもと学校の要望に応じた教育活動を支援する体制づくりを推進する。 | |
| 1
拡 充 | ・ 学習支援型アフタースクール事業～学習支援特化型学校支援地域本部事業～
8,752 千円
(うち拡充分 5,152 千円) |
| (事業概要)
基礎的な学力の向上や学習習慣の定着を図るため、放課後等において、地域、大学生等の協力を得ながら、子どもたち一人ひとりにきめ細かな学習支援を行う。平成25年度は、モデル校を7校から10校に拡大して、成果や課題等について検証を行う。 | |

その他

1
新規

- ・教育関連プラン見直し業務(「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」「北九州市子ども読書プラン」)

2,181千円

(事業概要)

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の当初の5年間の計画が平成25年度に終了することから、平成26年度からの5年間で取り組むべき事業等を追加・拡充した後期事業計画(平成26年度～平成30年度)を作成する。

また、平成23年6月に策定した「北九州市子ども読書プラン」の中間見直しを行う。

3 事務事業の見直し等(主なもの)

(1) 行政評価による見直し

子どもの読書活動の推進

平成23年度学力・学習状況調査において、本市児童生徒の1日当たりの読書時間は県平均を下回っており、総合的な対策が必要となっている。

このような中、学校における読書活動推進モデル事業実施校からは、「いつでも図書館が開いているのでうれしい」「ブックヘルパーさんがいるので静かな中で安心して読める」などの声があり、学校図書館の利用人数や貸出冊数も増加するなどの効果が見られた。

そこで、平成25年度は、学校図書館嘱託職員とブックヘルパーの充実を図るなど、引き続き「北九州市子ども読書プラン」に基づき、学校、家庭、地域、市立図書館等が連携して、子どもの読書活動を推進する。

学習支援型アフタースクール事業(学習支援特化型学校支援地域本部事業)

基礎的な学力や学習習慣の定着を図るため、放課後等において、地域、大学生等の協力を得ながら、子どもたち一人ひとりにきめ細かな学習支援を行う学習支援型アフタースクール事業を実施した。実施したモデル校からは、「子どもの学習習慣の定着につながった」「学習への意欲が高まった」などの声があり効果が見られた。

そこで、実施校が事業に取り組みやすい環境づくりを進めるため、平成 25 年度はモデル校を 7 校から 10 校に拡大して、成果や課題等について検証を行う。

(2) その他の見直し

学校管理関係経費（一般）

学校で購入する物品について、契約方法の見直しを行うことにより、経費削減を図る。